

令和元年度

# 萌える天北オロロンルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2020/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	風景との出会いの演出	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-	-		景観形成についての総括 ・今年度で6回目となった道北ルートで連携フォトコンテストは、過去のフォトコン作品で制作したパネルの活用なども徐々に生まれている。数多くのすばらしい景観素材を収集することができるとともに、他のルートのよさを知る機会となるとともに、お互いの連携意識醸成にも繋がっている。課題として、フォトコン作品の活用や資金調達などがあり、作品活用について、助成金を活用してフォトブックの作成に取り組んでいる。 ・ルート内のシーニックカフェでは、カフェとルート活動との連携を重視した試行として、中部地区を対象とした情報発信の試行を行った。カフェを地域情報の発信拠点としていく連携を模索している。 ・秀逸な道や船場公園周辺で、清掃・除草活動を実施した次年度も継続して活動し、徐々に活動の輪を広げていく予定である。
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-	-		
			シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和元年6月2日～9月14日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数69人・応募作品数254作品	A - 3		
			景観診断プロジェクト	-	-	-	-		
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-	-		
			るもい地域の観光・まちづくりの未来を語る勉強会(6.18石田先生PJ)	-	-	-	-		
			日本道路会議(ルート副代表がパネリストとして参加)	-	-	-	-		
			風景街道テーマ別意見交換会(風景街道の意見交換会に参加)	-	-	-	-		
			シーニックカフェの登録・カフェ連携	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	通年	8人			
			船場公園での除草・物販・啓発活動(道路協力団体)	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和元年9月28日-29日	10人(主催者側)	A - 1		
		秀逸な道清掃プロジェクト	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和元年6月13日	7人(主催者側)	A - 2			
		花とみどりの景観づくり	エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-	-		
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-	-		
愛着と誇りの醸成	景観診断プロジェクト	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2020/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
食	自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信	地場製品の魅力づけ	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-		食についての総括 ・今年度は、食をテーマとした活動は実施しなかった。 ・今後は、活動のテーマ自体も含めて、方向性を検討していく予定である。
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-		
		新メニューの企画	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-		
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-		
		地域ブランドの構築	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-		
			ワークショップの開催	-	-	-		
			チカホでのシーニックPRイベントにて地域特産物の販売実施	-	-	-		
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2020/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	クリーンエネルギーのイメージづくり	菜種・ヒマワリ クリーンエネルギープロジェクト	-	-	-	-		環境保全についての総括 ・今年度も、ゴミ対策として、清掃活動や除草などの活動を実施した。また、道路協力団体として、沿道での物販活動を行うとともに、コミュニティラジオを活用した啓発活動も実施した。今後は、活動の時期や内容について再検討しながら、次年度も活動を展開する予定である。
			フォーラム開催プロジェクト	-	-	-	-		
			風景街道サミットinあさま(ルート代表がパネルディスカッションに参加)	-	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-	-		
		ゴミ対策の取り組み	船場公園での除草・物販・啓発活動(道路協力団体)	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和元年9月28日-29日	10人(主催者側)	A - 1		
			秀逸な道清掃プロジェクト	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和元年6月13日	7人(主催者側)	A - 2		
		身近な生態系の保全・復元	エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-	-		
			天塩イトウシンポジウム(共催)	-	-	-	-		
			天塩川でつなぐ・ひろがるプロジェクト	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2020/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	ロングドライブのサポート	景観診断プロジェクト	-	-	-		レクリエーションについての総括 ・レクリエーションの活動については、シーニックカフェとの連携による情報発信の展開に取り組むとともに、今年度からオロロンライン・サイクリスト応援プロジェクトを始動した。これから徐々に、活動協力者を増やしていきながら、活動を展開する予定。
			フォーラム開催プロジェクト	-	-	-		
			風景街道サミットinあさま (ルート代表がパネルディスカッションに参加)	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
			シーニックカフェの登録・カフェ連携	萌える天北オロロンルート運営 代表者会議	通年	8人	A - 4	
		身近なアウトドアの紹介	サイクリングイベントの周知協力活動	-	-	-		
			オロロンラインサイクリスト応援プロジェクト	萌える天北オロロンルート運営 代表者会議	7月～3月	25人	A - 5	
		各種カルチャー活動による交流	フィルムコミッションから学ぶ新たな 観光開発事業(フォトコンテスト作品 展示)	-	-	-		
			流雪溝雪はねボランティア ツアーin 苫前	-	-	-		
			エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-		
			菜種・ヒマワリ クリーンエネルギープロジェクト	-	-	-		
			よりみちの駅イベントでのシーニック PRイベント	-	-	-		
			ダウン・ザ・テッシン & 石田先生招聘プ ロジェクト	萌える天北オロロンルート運営 代表者会議	令和元年7月13日～15 日	15人		
エコ・ツーリズムセミナー	-	-	-					

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2020/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
歴史・文化	先代の暮らしぶりと新たな価値観を将来に伝え楽しむ	歴史資源の保全と活用	ワークショップの開催	-	-	-		歴史・文化についての総括 ・歴史・文化に関する活動としては、フォトコン作品の展示を実施した。留萌地域での暮らしぶりについて、写真を通して伝えることができた。 ・歴史・文化を主眼とした取組み自体は実施していないが、今後、他の活動の拡大などを通して実施できればと考えている。
			情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
		次世代への歴史伝承	-	-	-			
		独自の生活文化の発見	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-		
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-		
		シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和元年6月2日～9月14日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数69人・応募作品数254作品			
全体	上記内容全体の方針に関わる活動		情報受発信プロジェクト① ～冊子:Eezo～	-	-	-		地域づくりについての総括 ・情報発信についても、体制の見直しとともに、活動に変更があった。ルートのホームページを閉鎖し、新たに、Facebookを立ち上げて情報発信を進めている。 ・道をきっかけとした活動の展開など、進め方についても協議しながら、ルートの10年目を迎えての第2ステージを形成していきたいと考えている。
			情報受発信プロジェクト② ～オロロンマップの活用～オロロンさんぼみち	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト③ ～道の駅・シーニックカフェスタンプラリー～	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト④ ～オロロンドライブ情報～	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト⑥ ～留萌管内観光アンケート～	-	-	-		
			ルートFacebookの運用	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	通年	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 代表 西 大志	報告年月日: 2020/3/31
---------------------	--------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R1					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
	その他		フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-		

# 萌える天北オロロンルート

*Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway*

活動名：秀逸な道清掃プロジェクト

- 【概要】 ルート内の秀逸な道として試行指定された国道232号沿いで、昨年度から清掃活動に取り組んでいる。活動の実施により、普段、意識していなかった景観への認識の醸成や、沿道のゴミに海産物が多く混ざっていることなど、新しい気づきがあった。
- 【日時】 令和元年6月13日 14:00～15:00
- 【場所】 国道232号沿い（秀逸な道区間）
- 【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議
- 【協力】 留萌開発建設部
- 【参加人数】 活動従事者：7名



2019年清掃活動の様子



2018年の様子（6.6実施）



# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：船場公園での除草・物販・啓発活動（道路協力団体）

【概要】 るしんふれ愛パーク（船場公園：留萌市）手前の国道沿いで、道路協力団体として、施設手前の植樹樹の除草活動、地域特産品や農産品の販売活動（一部、公園管理棟内で実施）を実施した。物販活動は、当日、当公園で実施されたイベントに合わせて開催し、物販活動の収益アップを図った。

【日時】 令和元年9月28日～29日

【場所】 国道231号沿い（留萌市船場公園前）

【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】 留萌開発建設部、（一社）シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】 活動従事者：10名



除草の様子（令和元年9月28日）



物販の様子（令和元年9月29日）

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催

【概要】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイの道北4ルートによる、ルートを跨いだフォトコンテストを実施した。今年度で6年目の開催であり、多様な作品が集まっており、パネル展示を実施している他、作品の活用方法についても、フォトブックの制作を進めている。

【応募期間】令和元年6月2日～9月14日

【主催】シーニックバイウェイ北海道 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会



令和元年度 萌える天北オロロンルート賞  
【茜さす白波】



令和元年度 入選作品(萌天内)



パネル展示の様子  
(左:しょさんべつ温泉岬センター、右:ほろのベトナカイ観光牧場)



審査会の様子(2019.10.30)

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概要】ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。現在、ルート内に9カ所のカフェが設置されており、連携フォトコン作品のボード展示や、中部地区（苫前・羽幌・初山別）にて、試行的に地域情報の発信アンケート調査を実施。

【登録数】シーニックカフェ9カ所（令和2年3月現在）

## <登録先カフェ>

- ・喫茶ポルク（増毛町）
- ・千望台レストハウス（留萌市）
- ・ふなばカフェ（るしんふれ愛パーク内：留萌市）
- ・からくれ（小平町）
- ・ラウンジWildmill（道の駅風Wとままえ内：苫前町）
- ・TIARA（羽幌町）
- ・レストラン北極星（初山別村）
- ・道の駅富士見レストランとんがりかん（遠別町）
- ・てしお温泉夕映レストラン（天塩町）



情報発信リーフレット



連携フォトコンの  
紹介用ボードの展示  
（小平町）



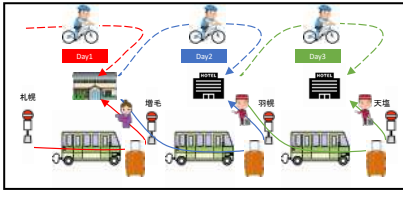

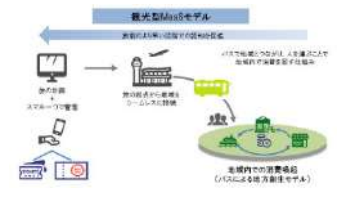


# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト

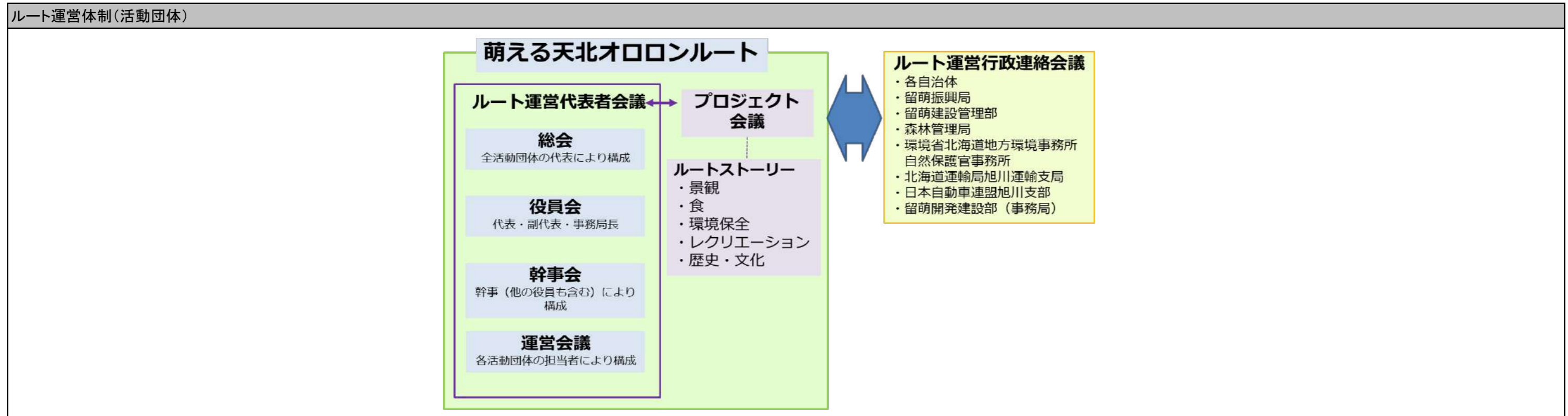
【概要】手ぶらサイクリングやバイクホテルをパッケージとして提案することで、ライト層を含めた来訪サイクリスト層の拡大と来訪者数の増加や、サイクリストによる観光消費の促進、「オロロンライン・ファン」の創出を目的とし、①オロロンラインサイクリスト応援キャンペーン、②手ぶらサイクルの検討、③バイクホテルの試行的設置、④手ぶらサイクルとバイクホテルをセットにした旅行パッケージの検討を行った。

	オロロンラインサイクリスト応援キャンペーン	手ぶらサイクルの検討	バイクホテルの試行的設置	手ぶらサイクルとバイクホテルをセットにした旅行パッケージの検討 (プロジェクト検討会)
進捗	 			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>応援ステッカーの作成</li> <li>応援ステッカーの掲示依頼</li> <li>ステッカー・サイクルラック・ポンプの発注受付中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3案のモデルルートを検討</li> <li>「手ぶらサイクリング」の実現に向け、沿岸バスとの打合せ(11月5日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンセットプラザ羽幌(羽幌町)との打合せ</li> <li>夕映(天塩町)との打合せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コササル(留萌市内の旅行会社)との打合せ(11月22日)</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内道路維持業者6社から申込みいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主旨は理解いただいた</li> <li>本社BTなど有人営業所での荷物の経由だとより実現性UP ↓沿岸バスの検討</li> <li>検討の結果、夕映での受け渡しは、施設の承諾が得られれば実現可能</li> <li>羽幌町内循環バスの荷物輸送はNG</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サンセットプラザ羽幌 <ul style="list-style-type: none"> <li>主旨は理解いただいた</li> <li>バスの荷物の受け取りについては、沿岸バスさんの検討結果を受けて、考えたい</li> </ul> </li> <li>●夕映え <ul style="list-style-type: none"> <li>主旨は理解いただいた</li> <li>今後バイクホテル化に向けた機材設置へ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主旨は理解いただいた</li> <li>手ぶら観光の受注受付になることは可能</li> </ul>

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 萌える天北オロロンルート 代表 西 大志	報告年月日: 2020/3/31
---------------------	---------------------------	------------------

活動団体
増毛町観光協会、豊かな森川海人をつくる増毛実行委員会、一般社団法人留萌青年会議所、NPO法人留萌観光協会、小平町観光協会連合会、小平町商工会、NPO法人天塩川を清流にする会、萌天サポーターズクラブ、苫前町まちづくり企画、桜並木を作る会、一般社団法人マッチワークス 全11団体



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議(総会)			● 6/13										このほか、事務局打合せを適宜実施。
役員会		● 5/23		● 7/5									
幹事会			● 6/7					● 11/5	● 12/25			● 3/2(中止)	
運営会議			● 6/7		● 8/30	● 9/28			● 12/25			● 3/2(中止)	
その他会議等						● 9/20~21 風景街道大 学・推進協 議会	● 10/30 ブロック会 議(旭川)			● 1/30 代表者会 議・連携 フォトコ ン会議(札 幌)			

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月日: 2020/3/31
---------------------	--------------	------------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施													会議体としての実施はせず、各自治体を個別訪問し、制度や取り組みを説明。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月: 2020/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和元年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	「道北ルート連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動 主催:シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和元年8月10日～12日、8月13日～22日、8月1日～22日、12月15日～令和2年1月6日	留萌開発建設部、小平町、苫前町、羽幌町、留萌市	「道北ルート連携フォトコンテスト」応募作品の巡回パネル展をおびら練れらかふえ(@@町)、しょさんべつ温泉岬センター(初山別村)、苫前町公民館(苫前町)、道の駅ほっとはぼろ(羽幌町)、トナカイホワイトフェスタ(幌延町)にて開催し、広報活動に協力した。今後も、継続してルートの活動を広く周知することが必要。	地域景観の紹介や地域景観づくりの継続した取り組みが定着している。 今後も、効果的なPRや、取り組みを地域全体に展開できる体制作りを進めたい。	A-3
		「道北ルート連携フォトコンテスト」の開催 主催:シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和元年6月2日～9月14日	留萌開発建設部	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト2018の開催にあたり、会議・審査会への参加及びフォトコンテストの活動周知に協力した。今年度から新たに天塩川シーニックバイウェイが参画し、道北ルートでの連携フォトコンテストとしての広がりを見せており、作品の活用やフォトコンテスト開催に関する周知が必要。		A-3
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	秀逸な道清掃プロジェクトでの清掃活動	令和元年6月13日	留萌開発建設部	秀逸な道区間での清掃活動を通して、沿道のゴミの実態を知り、美化への認識が深まった。今後も継続した取り組みが必要であり、活動の定着が必要。	清掃活動の実施を通して、沿道の美化への認識を深めることができた。今後も継続的、発展的に実施できるように、協力したい。	A-1
		船場公園での除草・物販・啓発活動	令和元年9月28日～29日	留萌開発建設部	道路協力団体として、除草・物販・啓発活動を実施した。活動時期を早めに設定するとともに、継続した活動が必要。		A-2
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進	通年	留萌開発建設部	活動を通して、ルート全体の魅力向上につなげるための仕組みづくりと意識共有が課題。	シーニックカフェとの連携を通して、地域資源の磨き上げやより道スポットを紹介し、滞在型観光を後押しするとともに、セミナーの開催等を通して、地域内の人材育成も強化し、交流人口の拡大、観光振興を深めたい。	A-4
		★オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト	通年	留萌開発建設部	ライト層を含めた来訪サイクリスト層の拡大と来訪者数の増加を目的としたサイクリング受入環境の向上事業が新規事業として始動し、事業の助言等を行った。R2年度は道の駅等の休憩施設の環境整備に協力していきたい。	管内の道路維持業者に工具や空気を積載する等一定の成果はあったので、今後もサイクリスト受入環境向上に向け道路管理者者として協力できることは協力する。	A-5
全体	景観、食、環境保全、レクリエーション、歴史・文化全体の方針に関わる活動	萌える天北オロロンルートFacebookページのリンク	通年	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、幌延町、留萌開発建設部	ルートの認知度向上を目的として、ルートのFacebookページと留萌開発建設部及び各自治体のホームページをリンクして連携した広報活動を行った。	まちづくり、地域づくりをテーマとしたルートの様々な活動は、継続した取り組みにより地域内外に浸透している。 今後も、Facebook等のツールを有効に活用し、ルート活動や地域資源のPR活動を進めたい。	

※表中“★”は、令和元年度新規に実施した活動